

糸東会だより

第12号：4月のイベント

 ページ1～2

【糸東会ニュース】

東日本シニア・ジュニア強化選手練習会

：5月のイベント

 ページ3～5

【各地区協議会（県連）ニュース】

- ・福島県糸東会
- ・埼玉県糸東会
- ・山梨県糸東会

 ページ6～8

【糸東会ニュース】

西日本ジュニア強化選手練習会

 ページ9～10

【各支部（団体）ニュース】

糸東流空手道

開祖摩文仁賢和顕彰会

 ページ11～12

【糸東会ニュース】

第2回レベルアップ講座（関東）

東日本シニア・ジュニア強化選手練習会

日時：令和7年4月26・27日（土・日）

場所：糸東会本部道場

本年度の東日本シニア・ジュニア強化選手練習会が糸東会本部道場で行われました。



1日目：開講式の様子



選手強化委員会の先生方



1日目：集合写真



第 35 回福島県糸東会空手道選手権大会開催

日 時：令和 7 年 5 月 3 日（金）

場 所：郡山市安積総合学習センター



福島県糸東会集合写真



福島県糸東会 大会の様子



第 36 回埼玉県系東会空手道選手権大会開催

日 時：令和 7 年 5 月 1 1 日（日）

場 所：ときがわ町体育センター（せせらぎホール）



埼玉県系東会集合写真



選手宣誓の様子



開会式の様子



埼玉県系東会 大会の様子



第 39 回山梨県系東会空手道選手権大会開催

日 時：令和 7 年 5 月 18 日（日）

場 所：いちのみや桃の里スポーツ公園 体育館

糸東会関東地区協議会より有田豊会長のご臨席を賜り、大盛況にて開催することが出来ました。



山梨県系東会集合写真



西日本ジュニア強化選手練習会

日時：令和7年5月11日（日） 10:00～16:00

場所：東大阪大学敬愛高等学校 空手道場

令和7年度西日本ジュニア強化選手練習会が東大阪大学敬愛高等学校（空手道場）で行われた。



西日本ジュニア強化選手練習会集合写真



選手強化委員の先生方



座学風景



形選手練習風景



組手選手練習風景

練習内容：ウォーミングアップ

ランニング・体操・柔軟・股関節、肩甲骨など意識したアジリティ系トレーニングを行いました。・・・山本将孝コーチ

形選手：午前基本中心・・・小野智香子コーチ

- ・平行立ちから前屈・猫足・四股への軸を意識体重移動
- ・足腰手の順に力の連動をゆっくり行い、タイミングを合わせる
- ・反動を使わない初動
- ・技の軌道を確認
- ・立ち方の基礎知識・・・ゆっくり動くことで無駄のない身体の使い方、移動の仕方を行う。

午後は転身を入れた移動基本

- ・午前中やったことを意識して転身を入れた移動を行い、最後にスピードを入れて、今日やったことのまとめを行う。

形は実践であり、相手が想定できているかを確認。今やっている動きは空手の技なのか考えてもらった。

原ちえりコーチ

形：ニーパイポ

三分割を複数回

目付、引き手、軌道について全体に指導

自由形：各自

自分から積極的に質問に来る選手が多かった。

組手選手：午後・・・小野秀明コーチ

- ・フットワークからの間合いの反応
- ・突き技、中心にモーションの少ない攻撃、後ろ足のタメの意識付け
- ・自分の体勢をキープさせた状態からの相手の動きへの反応
- ・プレッシャーのかけ方、その後の駆引きについて



糸東流空手道開祖摩文仁賢和顕彰会技術研究会

日 時：令和7年5月11日（日） 12:00～16:30

会 場：東大阪アリーナ（武道場）

内 容：形『ヘイアン』と『ピンアン』の違いについて

受講者：29名

講 師：坂本 清先生 山岡 硯太郎先生

今回で顕彰会技術研究会は、5回目を数える。今回も、昨年と同数の29名の参加を頂いた。

開講にて、山岡講師による糸東流の歴史について講義があり、賢和先生が稽古されていた時代背景、指導されていた様子など貴重な資料に基づき説明がありました。又、顕彰会技術研究会は、形の分解を個々で発展させ自分の物にする。自由な発想を可能とする場所である。摩文仁の形をそれぞれ理解して欲しい。と述べられ技術研究会は、始まった。

糸洲先生がコウソウクン（公相君大）の形を分解し作られて約100年以上となる。

現在の『ヘイアン』と、賢和先生が指導をされていた『ピンアン』を行い。立ち方、技の分解の違いを学んだ。短い時間ではあったが糸東流を学ぶ熱意が後押しをして形と並行して分解を交え形の奥行を知った。

技術研究会は、年代男女問わず楽しくそして内容も充実しており、達成感、分解での苦悶の表情が入交、あっという間の4時間半受講生からは次の企画は何？そしていつ行われるのかと問われる場面も見られました。更に次の講習会に期待する声も聞かれ、笑顔があふれつつも引き締まった技術研究会になりました。



過去実施内容は、次の通りワンクワン（令和3年実施）鷲牌初段・鷲牌貳段・鷲牌参段・青柳・明星（令和4年実施）松村抜砦（令和5年実施）サンセール（令和6年実施）

※顕彰会技術研究会の講習は、摩文仁賢和先生から伝わった形その原型のまま行っております。開祖の歴史を皆さんで歩みませんか。

糸東流空手道開祖摩文仁賢和顕彰会入会問い合わせ先

事務局 南 聡朗

〒535-0003 大阪府大阪市旭区中宮2-17-20

電話 090-3928-1807



糸東流空手道開祖摩文仁賢和顕彰会

摩文仁賢和先生 摩文仁賢榮先生 お墓参り

日 時：令和7年5月18日（日）

場 所：午前11時に豊中市服部霊園に各自集合。

お墓参りをし、墓参者皆で糸東流技術向上を誓った。



墓参者（敬称略・順不同）

山本満喜人、花尾廣隆、花尾みき子、辻 範修、笠井亮太、南聡朗



第2回レベルアップ講座（関東）

日 時：令和7年5月11日（日）

場 所：糸東会本部道場

講 師：猪越 孝治 1級資格審査員

我妻 登 1級資格審査員

委 員：手塚 雄一 指導委員会委員

沖重 理津子 指導委員会委員

糸東会本部道場において一級資格審査員の猪越孝治先生・我妻登先生を講師にお迎えし、第2回レベルアップ講座が受講者10名参加で行われた。

開講式において猪越講師から、「糸東会の技術の継承のため、資格取得のために、肩の力を抜いて1日頑張ってください」と激励の言葉をいただいた。講習会を始めるにあたり我妻講師より、「『称号論文は空手道に関する技術論文、特に糸東流の伝統技術に即した研究を述べたものにする。スポーツ論文にならぬよう注意が必要である。また、指導論、教育論をテーマにしたものは評価されない』と要綱に記載されているので、それに則した論文でないといけない」と説明された。

午前中は2グループに分かれ、猪越講師は4段審査受審予定者を対象に、我妻講師は高段位受審予定者の指導を行っていただいた。受講者1名が演武し、それに対してほかの受講者が意見を述べるディスカッション方式で行われた。その中でもポイントとなる技や体の使い方や受講者から出た質問を、分解組手を交えながら講師の先生の説明がされ、受講者の理解を深めていた。

午後は称号・高段位担当を猪越講師に、4段位を我妻講師が担当いただいた。称号受審者の講習は試験を想定し、論文の発表と5分間の実技の披露を行い講師の先生より指導していただいた。1日の講習会を通して、緊張感がありながらも活発な意見交換ができ、受講者からは充実感を感じ取れた。

閉講式において猪越講師から、糸東会の指導者として正しい知識習得のための心構えについて講評いただいた。



参加者集合写真



講習風景